

「オスプレイいらない!八千代ネット」通信 No.1

- 発行：オスプレイいらない!八千代ネットワーク ●発行日：2021年8月10日
- HP：http://www.yachiyo-syuyaku.net/no_osplay/
- 事務局：090-6473-3172(三田)
- メール：4111920001@jcom.home.ne.jp

ホームページへ
アクセス!



～私たちの街に欠陥軍用機・オスプレイが飛んでくる～

住民の命と財産があぶない!

地域住民の声で配備と飛行を止めましょう!!

●私たちの街の空に欠陥軍用機が飛んでくる!

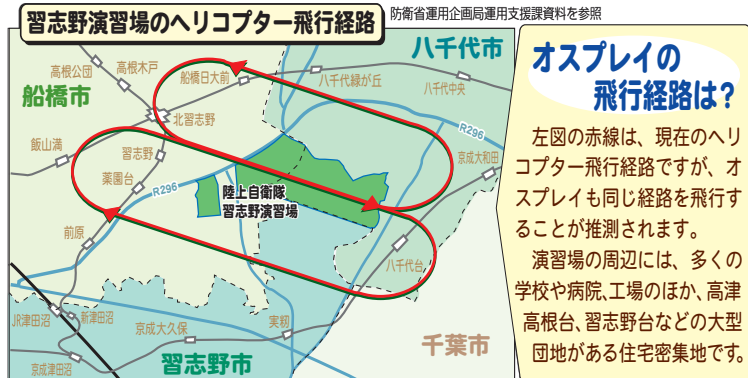
世界が欠陥を指摘している軍用機オスプレイ。墜落や故障を繰り返し、アメリカ以外で配備を決定したのは日本だけ。にもかかわらず3600億円もかけて計17機が木更津に配備予定です。

オスプレイの飛行ルートは習志野演習場のみならず、富士演習場(静岡県・山梨県)、相馬原演習場(群馬県)、関山演習場(新潟県)で行うとし、県外の演習場へ向かうルートも公表されています。木更津基地にはすでに7機が配備され、近いうちに飛行訓練が開始されると言われています。



沖縄の海上に墜落。大破したオスプレイ

●「土地利用規制法」で市民の声を監視・妨害する菅政権!



オスプレイは大騒音で飛びます。年数万回という訓練は低空飛行や夜間訓練を繰り返し、周辺住民の日常生活も破壊します。住宅や学校がある地域の上空を飛び、墜落したら住民の命と財産が失われる危険性があるのです。

しかも、菅自公政権はここにきて「土地利用規制法」を強行可決させました。同法は習志野演習場などの自衛隊基地や、原子力発電所などの周囲約1キロなどを「注視区域」に指定して政府に所有者の調査

権限を与えるもので、個人情報や財産権を侵害し、監視社会化し、土地利用規制法の拡大解釈・反基地運動への妨害をねらったもので、「戦争する国づくり」に向けた軍拡路線を背景にオスプレイ配備があります。地域の皆さん、誰もが安心して暮らせる街づくりのために、オスプレイ配備と土地利用規制法に反対しましょう!

「オスプレイ配備に反対する市民学習会」参加者で会場が満席に

去る7月11日、八千代市生涯学習プラザにおいて、「オスプレイいらない!八千代ネットワーク主催の「オスプレイ配備に反対する市民学習会」が開催。コロナ禍で入場制限がありつつも満席となり、市民の関心の高さが証明されました。

当日は「リムピース」編集長の頼和太郎さんの講演でした。「リムピース」は、反基地の立場から米軍や基地の動向・活動実態を鋭い視点で情報提供しているウェブサイトです。

頼さんは「オスプレイは本来、航空法では飛行禁止。しかも構造上、遭難者の救援作業もできない」など、欠点を指摘しつつ、「木更津は5年間の暫定とされているが恒久化される」と警鐘を鳴らしました。市民学習会の成功をバネにして、さらにオスプレイ配備と飛行を止める運動を継続・発展させていきます。

